

② 家庭で心がけていること

子どものより良い成長のために、PTA活動者の方々が家庭で実践している具体事例を紹介します。できることから始めてみませんか。

子どもへの愛情はたっぷり!!

子どもへの愛情は、見返りのない愛。子どもの幸せが、自分にとっても一番の幸せになるのではないのでしょうか。



子どもに判断させる!!

子どもに家族で遊ぶ内容を決めてもらうなど、いろいろな判断をすることを通して、子どもは自立していきます。



失敗を生かす!!

子どもたちの様子を見てみると、失敗が子どもを成長させているように感じます。失敗した後に叱らないことと、きちんとしたフォローをすることが大切です。



子どもを見守る

子どもが思春期に入った場合、親子の距離感を意識します。近づきすぎること自立は妨げられ、離れすぎると子どもの行動を把握しきれなくなります。



親が良い手本に!!

「子は親の鏡」と言われますが、親が社交的だと子どもも社交的になります。親の悪いところは、子どもも似るとよく言われます。



友達のよさに気付かせる!!

友達の良い行動や長所などを、子どもに尋ねることにより、子ども自身が他人のよさに気付けるようになります。



答えではなく、やり方を教える

子どもが壁にぶつかった時、できる限り子どもの力で解決させたいものです。例えば釣りに行って子どもがなかなか釣れなかったとします。その時あなたは、魚を釣ってあげますか、それとも魚の釣り方を教えてあげますか。



凡例

上段

家庭で心がけていること

下段

簡単な説明